

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス れもん			
○保護者評価実施期間	令和6年12月3日 ～ 令和6年12月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和6年12月3日 ～ 令和6年12月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員・保育士、児童福祉事業経験5年以上といった職員が常勤で支援に当たっている。	・基準の人員配置(利用者10名に対し、児童指導員2名)ですが、保育士(常勤3名・非常勤2名)、児童指導員(常勤1名)とその他の従業者で支援を行っています。 ・働きやすい環境を作ること意識しています。	・左記の事を継続して行うとともに、さらに充実させたいと思う。
2	・保護者支援及び関係機関連携	・保護者さまの相談(家庭や学校などでの困り感)に応じ、問題解決や改善策に説き組んでいる。例えば、学校での学習につまずきについては、こどもの困り感が軽減されるように助言を行ない対応している。また、家庭において基本的な生活習慣が不安となった場合などでは、保護者さまや関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組んでいる。	・引き続き、保護者さまのニーズに応じていけるよう。関係機関との連携を君津に図っていく。また、保護者さまの不安や悩みに迅速に対応し、安心して頂けるように努める。
3	・プログラムの多様性	・常にアンテナを上げ興味を持ちそうな活動を提供できるように心掛けている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職による支援	・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保できていない。	・必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者が研修(資格取得を含め)を重ね専門性に繋がる支援に取り組んでいく。
2	・こどもに対する家族の対応力向上のため「ペアレントトレーニング」等や保護者さま同士の交流が設けられるなどへの支援が希薄なこと。	・保護者さまからの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みは出来ていない。	・父、母が参加できるイベントの企画を行っていく。 例：れもんカフェ など
3	・放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のお子さまと活動する機会がないこと。	・近隣に放課後児童クラブや児童館が少なく、地域のお子様と一緒に活動する機会は少ない。	・地域の方にも参加していただけるイベントの企画を行っていく。 例：療育の周知活動イベント バザー など